

特別企画：茨城県内企業のメインバンク動向調査（2022 年）

県内企業のメインバンク、 前年に引き続き「常陽銀行」がトップ

～「ネット銀行」のシェアが拡大傾向、今後の動向に注目～

はじめに

コロナ禍で疲弊した中小企業への支援が、経営再建や事業承継、取引先の新規開拓など、資金繰りから企業再編・再生へと移ろうなかで、地域金融機関に求められる役割は経営の様々な場面で増している。そのため、金利以外の魅力度を高めた金融機関が様々な課題を持つ企業から幅広い支持を得る形となり、今後メインバンクシェアに変化が訪れる可能性がある。

帝国データバンクでは、2022 年 10 月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（約 147 万社収録、茨城県約 2 万 9000 社、特殊法人・個人事業主含む）をもとに、茨城県内の企業が「メインバンク」と認識する金融機関を分析した。一企業に複数のメインがあるケースでは、各企業が最上位として認識している金融機関をメインバンクとした

本調査は帝国データバンクが独自に調査・保有する企業概要データベース「COSMOS2」に収録された企業データであるため、各金融機関がメインとして認識する実数と異なる場合がある

調査結果（要旨）

- 2022 年のメインバンクトップは、「常陽銀行」（1 万 3611 社、シェア 47.77%）。以下、「筑波銀行」（5353 社、同 18.79%）、「茨城県信組」（3066 社、同 10.76%）、「水戸信金」（2182 社、同 7.66%）、「結城信金」（1067 社、同 3.75%）となった
- 業種別では、全業種で「常陽銀行」がトップ。なかでも、基幹産業のひとつである『建設』で 4622 社、2 位の「筑波銀行」1947 社に 2700 社近い差をつけるなど、「常陽銀行」の強さが際立った
- 売上規模別では、「5000 万円未満」「5000 万円～1 億円未満」「1 億円～5 億円未満」「5 億円～10 億円未満」「10 億円～50 億円未満」「50 億円以上」すべての規模で「常陽銀行」がトップ。一方、10 億円未満の売上規模に限ると、「筑波銀行」がそれぞれ約 2 割のシェアを手堅く保持している

1. 県内企業のメインバンク、前年に引き続き社数およびシェアともに「常陽銀行」がトップ

2022年のメインバンク社数トップは前年に引き続き「常陽銀行」であった。企業数は1万3611社（シェア47.77%）となり、2017年の調査開始以降6年連続トップ。2位は「筑波銀行」の5353社（同18.79%）、3位は「茨城県信組」3066社、（同10.76%）、4位は「水戸信金」2182社（同7.66%）、5位は「結城信金」1067社、（同3.75%）であり、上位5位はいずれも地元の地銀、信用組合、信金となった。このうち、「常陽銀行」「筑波銀行」「茨城県信組」「水戸信金」は前年と比較し社数が増加、うち「筑波銀行」「茨城県信組」は社数、シェアとともに拡大している。

地元の金融機関に続き6位となったのは、「横浜銀行」と「コンコルディア・フィナンシャルグループ」としてアライアンスを組む「東日本銀行」が494社（同1.73%）。7位は「常陽銀行」と同じ「めぶきフィナンシャルグループ」に属する「足利銀行」の453社（同1.59%）であったが、ともに社数、シェアを落とした。

都市銀行で社数トップとなったのは「三菱UFJ銀行」で278社（同0.98%）。「三井住友銀行」が274社（同0.96%）、「みずほ銀行」が270社（同0.95%）で続き、いずれも社数、シェアを伸ばした。

なお、上位20位には入っていないが、ネット銀行や、「ゆうちょ銀行」の社数、シェアがわずかながらも拡大傾向にあり、今後の動向が注目される。

社数およびシェア（茨城県）

順位	金融機関	2022年			2021年			
		社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)		(pt)		(社)		(pt)
1	常陽	13,611	47.77%	▲ 0.03	1	13,467	47.80%	▲ 0.03
2	筑波	5,353	18.79%	+0.05	2	5,279	18.74%	+0.07
3	茨城県信組	3,066	10.76%	+0.03	3	3,024	10.73%	+0.01
4	水戸信金	2,182	7.66%	▲ 0.02	4	2,164	7.68%	+0.05
5	結城信金	1,067	3.75%	▲ 0.07	5	1,075	3.82%	▲ 0.05
6	東日本	494	1.73%	▲ 0.13	6	524	1.86%	▲ 0.03
7	足利	453	1.59%	▲ 0.05	7	463	1.64%	▲ 0.03
8	三菱UFJ	278	0.98%	+0.01	8	272	0.97%	+0.01
9	↑ 三井住友	274	0.96%	+0.08	10	249	0.88%	▲ 0.02
10	↓ みずほ	270	0.95%	+0.01	9	264	0.94%	±0.00
11	千葉	208	0.73%	+0.06	11	188	0.67%	+0.01
12	銚子信金	180	0.63%	▲ 0.01	12	180	0.64%	+0.01
13	佐原信金	122	0.43%	▲ 0.01	13	123	0.44%	+0.01
14	武蔵野	90	0.32%	±0.00	14	89	0.32%	▲ 0.02
15	栃木	61	0.21%	±0.00	15	60	0.21%	▲ 0.01
15	↑ りそな	61	0.21%	±0.00	17	59	0.21%	±0.00
17	↓ 東邦	60	0.21%	±0.00	15	60	0.21%	▲ 0.01
18	埼玉りそな	55	0.19%	±0.00	18	53	0.19%	±0.00
19	商工中金	51	0.18%	+0.01	19	47	0.17%	±0.00
20	烏山信金	28	0.10%	±0.00	20	28	0.10%	±0.00

2. 前年に引き続き、全業種で「常陽銀行」がトップ

業種別にみると、すべての業種で「常陽銀行」がトップとなった。「常陽銀行」の全業種トップは6年連続。「常陽銀行」は基幹産業のひとつである『建設』で4622社、2位の「筑波銀行」1947社に2700社近い差をつけるなど、圧倒的な強さをみせている。

その一方で、「筑波銀行」も『建設』（19.76%、前年比0.23ポイント増）や『製造』（18.69%、同0.19ポイント増）などでシェアを拡大させており、健闘している様子が見える。

建設業					製造業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
1	常陽	4,622	46.92%	▲0.41	1	常陽	1,544	46.90%	+0.16
2	筑波	1,947	19.76%	+0.23	2	筑波	615	18.68%	+0.19
3	茨城県信組	1,238	12.57%	+0.15	3	茨城県信組	247	7.50%	▲0.15
4	水戸信金	884	8.97%	+0.06	4	結城信金	156	4.74%	+0.09
5	結城信金	403	4.09%	▲0.05	5	水戸信金	146	4.43%	±0.00
6	東日本	144	1.46%	▲0.13	6	三菱UFJ	84	2.55%	▲0.03
7	足利	120	1.22%	▲0.04	7	東日本	76	2.31%	▲0.12
8	銚子信金	91	0.92%	+0.01	8	足利	74	2.25%	▲0.15
9	千葉	70	0.71%	+0.07	9	みずほ	65	1.97%	▲0.06
10	武蔵野	56	0.57%	±0.00	10	三井住友	64	1.94%	±0.00

卸売業					小売業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
1	常陽	1,362	50.17%	▲0.21	1	常陽	1,636	45.58%	▲0.17
2	筑波	453	16.69%	▲0.02	2	筑波	742	20.67%	+0.04
3	茨城県信組	256	9.43%	+0.07	3	茨城県信組	442	12.32%	+0.05
4	水戸信金	142	5.23%	▲0.11	4	水戸信金	309	8.61%	+0.19
5	結城信金	84	3.09%	▲0.13	5	結城信金	135	3.76%	▲0.17
6	足利	73	2.69%	+0.06	6	足利	64	1.78%	▲0.10
7	東日本	55	2.03%	▲0.16	7	東日本	62	1.73%	▲0.15
7↑	三菱UFJ	55	2.03%	+0.02	8	三菱UFJ	29	0.81%	▲0.02
9	三井住友	54	1.99%	+0.27	9↑	千葉	21	0.59%	+0.17
10	みずほ	39	1.44%	▲0.02	10↓	銚子信金	20	0.56%	▲0.02

運輸・通信業					サービス業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
1	常陽	503	39.42%	+0.67	1	常陽	2,961	52.32%	+0.55
2	筑波	263	20.61%	▲0.23	2	筑波	1,005	17.76%	▲0.36
3	茨城県信組	181	14.18%	+0.23	3	茨城県信組	473	8.36%	▲0.09
4	水戸信金	94	7.37%	▲0.24	4	水戸信金	433	7.65%	▲0.30
5	結城信金	83	6.50%	▲0.08	5	結城信金	153	2.70%	▲0.04
6	東日本	28	2.19%	▲0.19	6	東日本	85	1.50%	▲0.10
7	足利	25	1.96%	▲0.10	7	みずほ	84	1.48%	+0.03
8	三井住友	16	1.25%	+0.06	8	三井住友	72	1.27%	+0.17
9↑	三菱UFJ	10	0.78%	+0.07	9↑	三菱UFJ	61	1.08%	+0.14
9	みずほ	10	0.78%	▲0.09	10↓	足利	59	1.04%	▲0.04

不動産業					その他産業				
順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)	順位	金融機関	2022年 社数 (社)	シェア (%)	前年比 (pt)
1	常陽	595	45.73%	▲0.27	1	常陽	388	48.08%	▲0.35
2	筑波	215	16.53%	+0.05	2	筑波	113	14.00%	+1.43
3	茨城県信組	171	13.14%	+0.03	3	茨城県信組	58	7.19%	+0.12
4	水戸信金	125	9.61%	+0.19	4	水戸信金	49	6.07%	▲0.08
5	東日本	33	2.54%	▲0.21	5	結城信金	21	2.60%	▲0.28
6	結城信金	32	2.46%	▲0.13	6↑	東日本	11	1.36%	+0.31
7	足利	30	2.31%	+0.11	7	みずほ	11	1.36%	+0.31
8	千葉	21	1.61%	+0.04	8	佐原信金	9	1.12%	+0.07
9	三井住友	16	1.23%	▲0.03	9↓	足利	8	0.99%	▲0.06
10	みずほ	13	1.00%	+0.06	10↓	三井住友	8	0.99%	▲0.32

3. 全売上規模で「常陽銀行」がトップ、「筑波銀行」も中小企業から高い支持

売上規模別にみると、「5000万円未満」「5000万円～1億円未満」「1億円～5億円未満」「5億円～10億円未満」「10億円～50億円未満」「50億円以上」すべての規模で「常陽銀行」がトップ。いずれも2位を大きく引き離しており、なかでも中堅企業のレンジである「10億円～50億円未満」では55.04%と高いシェアを占めている。

一方、10億円未満の売上規模に限ると、「筑波銀行」がそれぞれ2割近いシェアを保持、県内の中小企業から、メインバンクとして支持されていることが分かる。

また、「50億円以上」になると、「三菱UFJ銀行」など都市銀行が上位に顔を見せるようになる。そのほかの売上規模で2位を独占している「筑波銀行」より、「三菱UFJ銀行」や「三井住友銀行」「みずほ銀行」を合わせた都市銀行のシェアの方が大きくなっていることには興味を持てる。

5000万円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比						順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)								(社)	(pt)		
1	常陽	5,500	46.27%	▲ 0.25	1	5,635	46.52%	▲ 0.56		1	2,374	46.02%	+0.02	
2	筑波	2,307	19.41%	+0.17	2	2,331	19.24%	+0.42		2	1,028	19.93%	+0.16	
3	茨城県信組	1,443	12.14%	+0.09	3	1,460	12.05%	+0.10		3	621	12.04%	▲ 0.11	
4	水戸信金	1,029	8.66%	±0.00	4	1,049	8.66%	▲ 0.03		4	441	8.55%	▲ 0.13	
5	結城信金	512	4.31%	▲ 0.11	5	535	4.42%	+0.01		5	210	4.07%	+0.16	
6	東日本	199	1.67%	▲ 0.21	6	228	1.88%	+0.05		6	95	1.84%	▲ 0.10	
7	足利	170	1.43%	±0.00	7	173	1.43%	+0.01		7	62	1.20%	▲ 0.13	
8	三井住友	88	0.74%	+0.12	9	75	0.62%	▲ 0.04		8	45	0.87%	▲ 0.07	
9	みずほ	82	0.69%	+0.07	9	75	0.62%	+0.01		9	37	0.72%	+0.09	
10	三菱UFJ	79	0.66%	+0.02	8	78	0.64%	+0.04		10	31	0.60%	+0.01	

1-5億円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比						順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)								(社)	(pt)		
1	常陽	4,011	49.35%	+0.17	1	3,828	49.18%	+0.38		1	778	51.25%	+0.13	
2	筑波	1,507	18.54%	▲ 0.17	2	1,456	18.71%	+0.04		2	281	18.51%	+0.59	
3	茨城県信組	836	10.29%	+0.20	3	785	10.09%	▲ 0.44		3	96	6.32%	+0.14	
4	水戸信金	574	7.06%	+0.04	4	546	7.02%	▲ 0.22		4	77	5.07%	▲ 0.43	
5	結城信金	276	3.40%	▲ 0.12	5	274	3.52%	▲ 0.04		5	38	2.50%	▲ 0.28	
6	東日本	150	1.85%	+0.01	6	143	1.84%	▲ 0.17		6	36	2.37%	▲ 0.41	
7	足利	148	1.82%	▲ 0.08	7	148	1.90%	+0.04		7	36	2.37%	▲ 0.48	
8	千葉	80	0.98%	+0.05	8	72	0.93%	+0.07		8	29	1.91%	+0.01	
9	三井住友	68	0.84%	+0.03	10	63	0.81%	▲ 0.02		9	24	1.58%	▲ 0.12	
10	みずほ	66	0.81%	▲ 0.06	9	68	0.87%	+0.07		10	23	1.52%	+0.09	

10-50億円未満					2022年					2021年				
順位	金融機関	社数	シェア	前年比						順位	社数	シェア	前年比	
		(社)	(pt)								(社)	(pt)		
1	常陽	732	55.04%	▲ 0.70	1	723	55.74%	+0.39		1	177	47.20%	+2.14	
2	筑波	191	14.36%	+0.02	2	186	14.34%	+0.32		2	34	9.07%	▲ 0.52	
3	茨城県信組	53	3.98%	▲ 0.11	3	53	4.09%	+0.18		3	26	6.93%	+0.53	
4	みずほ	47	3.53%	▲ 0.02	4	46	3.55%	+0.01		4	25	6.67%	+0.27	
5	水戸信金	43	3.23%	+0.61	6	34	2.62%	▲ 0.77		5	19	5.07%	▲ 0.45	
6	三菱UFJ	39	2.93%	▲ 0.31	5	42	3.24%	▲ 0.01		6	8	2.13%	▲ 0.49	
7	足利	32	2.41%	+0.10	8	30	2.31%	▲ 0.05		7	6	1.60%	▲ 0.43	
8	三井住友	32	2.41%	▲ 0.13	7	33	2.54%	+0.18		8	5	1.33%	+0.46	
9	結城信金	29	2.18%	+0.41	9	23	1.77%	±0.00		9	4	1.07%	▲ 0.38	
10	千葉	25	1.88%	+0.34	10	20	1.54%	▲ 0.31		10	3	0.80%	▲ 0.36	

まとめ

2022 年のメインバンク調査では「常陽銀行」が企業数 1 万 3611 社、シェア 47.77% となり、前年に引き続きトップ。県内企業の半数近くが「常陽銀行」をメインバンクとしており、同行は 2017 年の調査開始以降、6 年連続でトップの座を守り続けている。

2 位の「筑波銀行」も売上規模 10 億円未満の中小企業を中心に約 2 割のシェアを手堅く保持、地元金融機関としての地位を確立させている。以下、「茨城県信組」「水戸信金」「結城信金」の順で並び、これまでと同じく茨城県の地銀、信用組合、信金が上位を占めた。

金融機関には運転資金や設備資金など資金需要への対応だけでなく、事業承継問題やデジタル変革（DX）、コロナ融資などで過剰債務を抱えている中小企業の事業再生を支援する役割等が求められるようになってきている。また、低コストでの送金や口座維持手数料の無料化など利便性の高い決済機能面を強みに、ネット銀行が店舗型金融機関の新たな受け皿となりつつある。ニーズを捉えた金融サービスの提供、一歩踏み込んだ対応を取る地域金融機関が、コロナ後におけるメインバンクとして企業から選択されるひとつの判断材料になり得るかもしれない。

【 内容に関するお問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 水戸支店（情報担当：国分 信一郎）
TEL 029-221-3717 FAX 029-232-0272 MOBILE 080-7002-7189

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。